



NO. 350

2022. 8. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 長谷川 美智代

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

令和4年度（一社）全国手をつなぐ育成会連合会
通常総会が開催されました

理事長 長谷川 美智代

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の令和4年度通常総会が、6月29日水曜日にオンラインで開催されました。

総会の開催にあたり、久保会長からは、「今年は、育成会が連合会になって9年目、そして育成会運動が立ち上がってから、70周年になります。ここで我々は、初心に戻り、今後の育成会のありようを考える必要があります。各地から、会員の高齢化や若い会員の加入減少が伝えられる現状ですが、今一度、私たちが、子どもたちの課題を追いかけてきた頃を振り返り、自分たちの若いころを思い出して、若い人のニーズに寄り添っていくことが必要ではないか。その上で、親の高齢化を見据えた課題にも取り組んでいくことが重要です。」との挨拶がありました。

続いて、令和3年度の事業報告があり、主要事項について以下のような説明がありました。

（1）オンライン活用による育成会活動の展開

新型コロナの影響で、近年ではオンライン会議システムがすっかり定着してきました。全育連でも、活動については、令和3年度の予定していたすべての行事や会議をオンライン方式または、ハイブリット方式で実施することができ、新型コロナだから仕方がない、ではなく、新型コロナでも活動を止めないという方向性を打ち出すことができました。

（2）一般社団法人発足記念式典の開催

令和3年度も対面での全国大会は、開催できませんでしたが、オンライン配信方式により一般社団法人発足記念式典を開催することとし、全育連の一般社団法人

人格取得について報告するとともに、通常の全国大会から式典部分を抽出して表彰や中央情勢報告をお届けしました。

（3）新しい時代の育成会活動に向けた取り組み

全育連の活動を次世代に向けてバトンタッチをしていくため、今後の育成会活動のあり方を検討するプロジェクトを取りまとめるとともに、着手可能なものから取り組みを推進しています。プロジェクトチームのとりまとめの概要は次のとおりです。

①機関誌「手をつなぐ」のあり方

近年の会員減少（発行部数減少）という現状を踏まえつつ、冊子の充実と経費節減を両立する観点から、「手をつなぐ」の誌面を全面的に見直し、販路、部数の拡大に向け、特別賛助会員の拡充等に取り組みます。

②全国大会のあり方

以前から、一部に検討を求める声がある毎年開催の適否も含め、当面は、令和4年度以降の開催を中心に検討し、令和4年度については、第7回全国大会を福井県で開催します。また、今後の全国大会の開催方法については、従来どおり毎年開催を基本としつつ、ブロック内における正会員からの意見を取りまとめ、引き続きあり方を検討していきます。

③規程類整備のあり方

職員採用や労務管理に関する規程、財務経理に関する規程などを順次で整備し、今後も職務分掌規程、決裁規程などを整備します。

④財政基盤安定のあり方

「手をつなぐ」のあり方について、編集体制を内蔵化し、経費の適正化を図ります。また、発行部数増加についても手法を検討。正会員からの分担金については、十分に意見交換を重ねつつ新しいあり方を施行します。